

新大

キャンパスライフをもっと豊かに

広報

| 特集 | 卒業生・修了生からのメッセージ

輝く未来への新たな一歩

～新潟大学での学びを糧に～

学長からのメッセージ 新潟大学長 牛木 辰男



No.229

[2024年 卒業記念号]



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



卒業生、修了生の皆さん、卒業、修了まことにおめでとうございます。

2019年末に出現した新型コロナウイルス感染症COVID-19は、その後すぐにパンデミック(世界的大流行)となって猛威を振るい、すでに4年が過ぎました。まさに皆さんの大学生活のほとんどが、コロナ禍の中となったことは大変残念でしたが、幸い昨年からは少しずつ日常が戻ってきており、最終年度はさまざまな活動ができたのではないかと思います。この厳しい時代を乗り越えて、卒業・修了を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

新潟大学の理念「自律と創生」は、他人の真似ではなく、自分自身で物事をよく見聞きし、事実を自分の目で見極めて、正しく判断して行動する、そういう習慣を持つことです。それは、新潟のシンボルでもある柳のように、しなやかで折れない「真の強さ」を持つことにつながります。これから皆さんが活躍する社会は、グローバル化が益々進み、一方で、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータ等の新たな技術が築くサイバー空間と、現実のフィジカル空間が融合した新しい世界がどんどん築かれていくことでしょう。生成AIの出現もその一つ

です。そして、今回のコロナ禍のような事態や、予期せぬ災害等にも何度か見舞われるに違いありません。その中で、どうか「自律と創生」の精神をもって、一歩ずつ前に進んで未来を切り拓いていくってください。そして、新潟大学が現在かかげる将来ビジョンにミッションとして示したように、未来のライフ・イノベーションのフロントランナーとなることを目指して、各方面で大いに活躍してください。

新潟大学は今年、新製の国立大学になって75周年を迎えます。それに向けて、現在様々なイベントも計画されています。皆さんも同窓生として、さまざまな形で参加していただければ幸いです。

皆さん、新潟大学は皆さんの母校です。ここで学んだ誇りをもって、未来への一歩を踏み出してください。そして、コロナ禍に大学生活を乗り切った大きな勲章を胸に、どんなときにも失敗を恐れずに、勇気をもって前に進んでください。新潟大学は卒業後、修了後も皆さんとの絆を大切に、皆さんを応援します。

改めて、皆さんの未来に幸多きことを！

皆さんの未来に幸あれ

新潟大学長

牛久保 男



卒業生・修了生のみなさん、

ご卒業並びに修了おめでとうございます。

新潟大学での学生生活はどんなものだったでしょうか？

たくさんの学びや出会いがあったと思います。

楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったこと....

みなさんが学生生活で最も印象に残っていることや、

卒業後の進路選択について教えてください！

｜特集｜卒業生・修了生からのメッセージ

輝く未来への新たな一歩

～新潟大学での学びを糧に～

教育学部

学校教員養成課程
大橋 裕太 OHASHI Yuta

学生生活で最も印象に残っていることは、4年間を通して新潟を満喫したこと。新型コロナウイルス禍でスタートした学生生活ということもあり、想像していた学生生活とは乖離したものでありました。そんな制限された生活の中でも、仲間やさまざまな方々と出会うことができ、食べ物や土地、気候や人柄などの新潟が持っている魅力を味わえました。大好きになった新潟で充実した4年間を送ることができました。



これからの決意表明



4月から地元である宮城県の教員として生徒の成長に携わります。生徒の自己実現に貢献できる教員になりたいと考えています。新潟大学で学んだたくさんのことを今後の人生で活かしていきたいです。

人文学部

人文学科
成田 詩織 NARITA Shiori

コロナウイルスの影響により、入学当初からオンラインの授業や非対面での活動を余儀なくされてきました。その中でも、多くのことに興味を持ち、学内外の活動に対して積極的に挑戦することができました。そして、それを応援してくれる仲間を見つけられた4年間だったと思います。特にサークル活動では、卒業後も心の支えになるような思い出と仲間をつくることができ、一緒に全力で楽しみ続けてくれた皆に感謝の思いでいっぱいです。



これからの決意表明



大学卒業後は、大学時代の活動や学びに関係した職業に就きます。新しい土地での生活に不安はありますが、新潟で大きく成長できた4年間のうちに、楽しみながら多くのことに挑戦し、学び続けていきたいです。

保健学研究科

博士前期課程 保健学専攻
鈴木 宏基 SUZUKI Koki

2年間の研究と学会発表をした経験が印象に残っています。研究を始めた頃は新たな研究分野を進めることに苦労しました。しかし、先生方の指導の下、研究室で行われる定期検討会を通じて知識と広い視野を持った思考力が磨かれ、自身の成長を実感しました。また、学会発表に参加したことで異分野の研究者の方々と交流する機会があり、とても充実した経験になりました。研究において、熱心に指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。



これからの決意表明



2年間の研究活動と診療放射線技師のアルバイト経験を通して、広い視野を持ち試行錯誤を繰り返す事の重要性を学びました。今後は学生生活で培った経験を糧に日々精進し、地域医療の発展に貢献していきます。

医歯学総合研究科

修士課程 医科学専攻
新井 香穂 ARAI Kaho

大学院生活において一番心に残っていることは人との出会いです。研究についてはもちろん、人生の相談にも親身に応じてくださる先生方や研究室の皆さんと接して、私も相手に真摯に向き合う大人に成長したいと思うようになりました。また、楽しいことも悩みも分かち合える大切な友人もでき、充実した時間を過ごすことができました。これらは進学したからこそ得られた貴重な経験です。



これからの決意表明



春からは新しい環境での社会人生活が始まります。私が大学院で周りの方々に支えてもらったように、私も誰かを支えられるような人になれるよう努力していきたいと思います。

経済科学部

総合経済学科
岡野 愛莉 OKANO Airi

「人」です。学際日本学プログラムでは、経済学を超え、様々な分野を研究する方と人文学も学修し、人数が少ないコミュニティで深い話ことができました。また、チューターとして留学生と交流する機会も得ることができ、非常に刺激を受けました。サークル活動では、共通の趣味を持った人とそれぞれの考えを一つにまとめる経験を通して、一つの作品を作り上げることができました。多様な価値観や考え方をを持った「人」との出会いが印象に残っています。



これからの決意表明



大学で出会えたご縁を大切にしつつ、学んだ内容と直接関わりがなかったとしても、大学で学ぶなかで身につけた視点や方法などを使って、多角的な思考を仕事に活かしていきたいです。

教育実践学研究科

教育実践開発専攻
井上 美恵 INOUE Mie

教職大学院での講義は、教授の先生方をはじめ、多くの講師の方々からご指導をいただきました。そのたびに知見を広めることができました。また、勤務する在籍校では、同僚から支援や応援をたくさんいただきました。「多くの方々のおかげで今、安心して学ぶことができる」「この恩を返したい」という感謝の気持ちと使命感をもって、学生生活を日々送ることができたことが、これからも忘れない、心に残ることです。



これからの決意表明



これからの学校教育を担っていく一員として多くの教職員と協働し、教職大学院で学んだことを自分の武器にして、新潟市の教育、子どもたちの成長に貢献できるよう、尽力していきます。

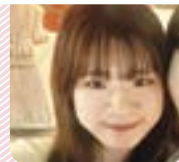
歯学部

口腔生命福祉学科
村上 琴海 MURAKAMI Kotomi

学生生活で最も印象に残っているのは、4年次の臨床実習です。実際に現場に出ることで、講義では得られない知識や、診療補助を学ぶことができました。また大学病院ならではの多職種との医療連携を見学することができ、今までの医療に対する考えが変わりました。慣れない環境での実習でしたが同期の支えが励みになりました。また、勉強だけでなく、学生時代の自由な時間で多くの旅行も経験でき、充実した1年間でした。



これからの決意表明



卒業後は関西で病院と連携している診療所で歯科衛生士として働きます。初めて患者さんを担当することへ不安もありますが、臨床実習での学びを生かし、職場でチームの一員として活躍できるよう精進していきます。

医学部

保健学科
山本 実央 YAMAMOTO Mio

大学生活で最も印象に残っていることは保健学科ボランティアサークルささだんごでの活動です。福島第一原発事故で被災された福島県の住民の方への健康支援・交流を行い、住民の方に沢山喜んでいただけたとともに、私自身も活動を通して沢山の元気をいただきました。コロナ禍で思うように活動ができない時期もありましたが、その時できることをメンバーと模索しながら楽しく活動を継続でき、とても充実した4年間となりました。



これからの決意表明



春から新潟県内の病院で看護師として働きます。常に学び続ける姿勢や思いやりの心を大切に、患者さんの心に寄り添った丁寧なケアを行えるよう精進していきます。

医学部

医学科
新井 大気 ARAI Taiki

5、6年次の臨床実習が印象に残っています。病棟では受け持ち患者さんの治療について指導医の先生と検討し、外来では患者さんの予診や診察をさせていただきました。机の上での勉強3時間より、ベッドサイドでの15分が勝ると言われるように、患者さんを師として沢山のことを学ばせていただきました。実習を通して、患者さんにはそれぞれの人生の背景があることを実感し、疾患に対してだけでなく、患者さん一人一人に向き合っていくことの大切さを学びました。



これからの決意表明



卒業後は地元の病院で初期研修医として働き始めることになります。まだまだ分からないことも多いですが、患者さんに寄り添い、少しでも地域の人々の力になれるよう、日々努力を重ねていきたいと思っています。

法学部

法学科
三森 駿 MIMORI Shun

個性豊かな仲間と出会い、様々な経験をしたことは、私にとって非常に印象深い思い出です。私は大学4年間を通して、仲間たちと共に、全国各地を旅行したり、電気や水道などのライフラインが整備されていないキャンプ場でキャンプをしたりするなど、大学生活を謳歌しました。振り返ってみると、私はこれらの経験を通して、仲間との絆を深めることができただけでなく、私自身の感性を磨くなど、自身を大きく成長させることができたと感じています。



これからの決意表明



私は政策系の大学院に進学し、社会問題を分析し、解決するスキルを身につけます。大学生生活や今後、大学院で得る多くの学びをいかし、政策立案を通して、国や地域の発展に貢献する社会人となるよう、日々精進します。

自然科学研究科

博士前期課程 材料生産システム専攻
小野寺 拓真 ONODERA Takuma

学生生活で最も印象に残っていることはボランティアサークルでの活動です。地域の餅つき大会や海岸コンサートに設営するキャンドルアートの作成手伝いといった多岐にわたるボランティア活動に参加しました。海岸コンサートのボランティアでは、キャンドル作成も私たちが行ったため、キャンドルアートが完成した際は強く心に響きました。ボランティア活動を熱心に取り組むことで学生生活がより充実したものとなりました。



これからの決意表明



卒業後はエネルギー業界の企業に就職します。脱炭素化社会という困難な課題に対して技術者として果敢に挑戦し、エネルギー供給を通して次世代を生きる人の「あたりまえ」を支えていきたいです。

現代社会文化研究科

博士前期課程 現代文化専攻
上田 真聖 UEDA Masato

博士前期課程において印象に残っていることは、研究室の仲間と協力し、100名の高齢者の方々を対象に体力測定を行ったことです。フィールドワーク中心の研究室で、「現場を知らなければ社会課題の本質を見抜けない」という准教授の言葉から、仲間と会議を繰り返して、高齢者の方々の声を聞きながら測定に取り組みました。そこで、実際に起こっている問題や取り組むべき課題を探索できた時間は、私にとって成長を実感できた時間でした。



これからの決意表明



これからは教育系企業に就職し、今まで新潟大学で学んだ知識を活かしながら実際に起こっている問題を見極め、自分のやるべきことに精一杯取り組んでいきたいです。そして、日本の教育課題の解決に貢献したいです。

農学部

農学科
西谷 優樹 NISHIYA Yuki

最も印象に残っていることは、サークル活動です。1、2年生の頃はリモート授業や交流の制限されている期間が多く、対面での活動は大きな心の支えになりました。また、サークル活動を通じて、かけがえのない友人もでき、大学4年間、非常に楽しい時間を過ごすことができました。また、丁度入学時がコロナのタイミングということもあり、心の支えとなるコミュニティの重要性を感じました。



これからの決意表明



4月からは大学院に進学します。新たな研究や、専門知識を身に付け、将来的に社会に貢献できることに繋がりたいと思っています。また、勉学以外にも様々なことに挑戦したいと思っています。

理学部

理学科
小笠原 宗也 OGASAWARA Soya

同じ理学部の友人と勉強会で教え合ったことが最も印象的です。コロナウイルスが流行し始めたときに入学したため、最初は周りの人とほとんど交流できませんでした。しかし、規制緩和された後の対面授業で、議論しながら一緒に問題を解き合うことで仲良くなっていきました。時には深夜まで通話してやることもあり、そのご縁で遊びに行ったり、飲み会を開いたりしました。スロースタートでしたが、充実した学生生活でした。



これからの決意表明



来年度から新潟大学の大学院に進学することになりました。異なる研究分野の人とも積極的に交流しながら、様々なことに興味を持ち、自分の研究を進めていきたいと思っています。

創生学部

創生学修課程
森本 瑞貴 MORIMOTO Mizuki

最も印象的なことは、シドニー工科大学への交換留学です。国際交流やアカデミック英語など、留学準備としての授業履修を組み、時間をかけて計画的に実現する事ができました。

現地では、様々なバックグラウンドを持つ人々と関わり、多様性を肌で感じる事で、自分の将来についても柔軟に考えられるようになりました。また、英語での日記や、英語での独り言動画を記録する習慣が積み重なり、自信に繋がった事は大きな収穫でした。



これからの決意表明



4年間で、学部や部活、そして留学先であるオーストラリアとタイで、目標を応援し合える仲間達と出会えました。これから社会人としても、沢山の出会いを大切に輪を広げ、仕事にチャレンジしていきたいです。

工学部

工学科
生方 美紀 UBUKATA Minori

学生生活で最も印象に残っていることは、2年生の時にグループで行ったメディアアート制作です。一般の方に鑑賞してもらう作品を作ることが初めてだったため戸惑うことも多く、アクシデントも度々ありました。しかし、多くの方の協力の下、作品は無事完成し、自分たちの作品で楽しんでくださっている様子を見た時にはとてもやりがいを感じました。共に制作をした友達や、先輩・先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。



これからの決意表明



卒業後は新潟の企業でエンジニアとして働きます。新しい職場や仕事内容に不安は尽きませんが、より性能が良く使いやすい製品を作るエンジニアとして将来活躍できるよう、日々精進していく所存です。

医学部

保健学科
山川 梨帆 YAMAKAWA Riho

病気の診断、治療には検査が必要不可欠です。その様な検査を通じて、患者の健康や命を守る手助けをしたいと思い、臨床検査技師を志しました。春からは、新たに開院する病院で勤務します。この地域では、救急医療が逼迫し、高齢化により医療需要が増大するなど医療問題に直面していると知りました。このような問題を解決し、安心して医療を受けられる病院・地域を創っていく為に、臨床検査技師として貢献したいと思い就職を決めました。



これからの決意表明



迅速かつ正確な検査は勿論、より付加価値の高い検査を提供し、多職種と連携し合いながら、早期診断や早期治療に繋がれるようにしたいです。そして、今まで学んだ知識を活かしつつ、新たな知識や技術を身に付け、日々成長し続けたいです。

経済科学部

総合経済学科
吉田 太陽 YOSHIDA Taiyou

私は新潟大学を卒業後、新潟大学大学院現代社会文化研究科への進学を目指している。そのきっかけはやはり、ゼミである。ゼミ配属当時、全く真面目に勉強していなかった自分は、ゼミで扱った新書の内容を上手く理解できなかった。周囲の優秀なゼミの仲間を追いつくべく、自習を始めたことで、経済学の面白さに気づくことができた。



これからの決意表明



(3月には結果が出ているが)冬の試験に何としても合格する。
楽しみながら学習を行う。
心身の成長のために、部屋をきれいに保つ。

教育実践学研究科

教育実践開発専攻
船戸 祐英 FUNATO Yuei

卒業後、私は、教師として働きます。教師になろうと思ったきっかけは、小学校6年生のときの恩師との出会いでした。当時は、怖い先生だと思っていましたが、学ぶ楽しさを教えてくれたり、私のことを想って声を掛けてくれたり、その姿を見ているうちに、教師という道を目指していました。その後、教師になるか迷う時期もありましたが、実習などで子どもと過ごし、子どもの姿が面白く、この子たちのために何かできないかと考えるようになってから、その迷いはなくなっていました。



これからの決意表明



自分の置かれている立場に没頭します。自分の役割を不満に感じることもあると思います。その際、投げやりではなく、自分のできることを精一杯、行うことが、自分の為でなく、他者の為にもつながると思うからです。

人文学部

人文学科
石田 万智 ISHIDA Machi

卒業後はテレビ局の美術・技術・CGを担っている会社に所属し、カメラや音声・照明などの技術として働きます。映像制作に携わる職に就くことが中学生の頃からの夢で、メディア論を学ぶことは新潟大学に進学した大きな理由でした。授業で映像制作を経験したり、実際に就職活動を進めたりする中で、やっぱり私は映像制作の仕事がしたいのだと確信し、この進路を選択しました。日本中・世界中に向けて発信するコンテンツ制作に携わることができるのが今から楽しみです。



これからの決意表明



技術職は特に専門的な知識を必要とするため、常に学び成長し続ける姿勢を大切にしたいです。入社後はドラマ・映画に携わることを目標に、多くの人々の記憶に残る作品づくりを目指します！

保健学研究科

博士前期課程 保健学専攻
高橋 七瀬 TAKAHASHI Nanase

国内外の様々な学会に参加・発表したことが進路選択のきっかけとなりました。他大学の学生・先生方から、発表内容について意見をいただくことができる貴重な機会となりました。研究・実験で試行錯誤・改良を重ねた結果、日本臨床化学会で学術奨励賞をいただき、その後、国際学会(米国ポートランド)でも口演発表することができました。卒業後も、研究室で培った、活発に研究の意見交換を行うというトレーニングを今後も続け、切磋琢磨していきます。



これからの決意表明



この春から、西の方の医薬品・栄養製品メーカーの研究職として働きます。保健学研究科で学んだことを活かし、医療職とはまた別のアプローチで、多くの方々の健康増進に寄与できる研究者になりたいと考えています。

医学部

医学科
松下 七奈 MATSUSHITA Nana

私は、医師として働く父の背中を見て、同じ道に進むことを決めました。漠然とした憧れで決めた進路でしたが、6年間の講義や臨床実習を通して、急性期から慢性期まで幅広く診療できる内科医になりたいと思うようになりました。新潟大学医学部医学科の教育理念である「医学を通して人類の幸福に貢献する」を胸に、常に患者さんとそのご家族に寄り添い、地域の方々の健康と生活を支えていけるよう、努力したいと思っています。



これからの決意表明



卒業後は、地元である愛知県の病院で研修医として働きます。初心を忘れず、患者さんと一緒に働く医療スタッフの皆さんから信頼される医師になれるよう、日々精進してまいります。

法学部

法学科
藤田 恭代 FUJITA Yasuyo

「ダブルホーム活動」に参加し、活動を通して地域の方と実際に関わったり、自分の足で地域散策したりするといった貴重な経験を多くさせていただきました。その経験を通して新潟県で生まれ育っていながらも、未だ私の知らない場所や、魅力が多々あることを知り、新潟県の経済基盤を支える金融機関で新潟県のこれからの支えていきたいと思い、卒業後の進路を決めました。



これからの決意表明



4年間、多くの方に助けられながら充実した大学生生活を送ることができました。この4年間に関わってくださったすべての方への感謝を忘れず、また、新潟を支えたいという気持ちを忘れず、日々精進していきます。

教育学部

学校教員養成課程
菅野 ひかる SUGANO Hikaru

私が教師を目指したきっかけは、高校時代の家庭科の先生に憧れたからです。その先生の授業は生徒主体の授業内容で、とても楽しかったことを今でも覚えています。そして、教育学部に進学し、4年間で3回の実習を行いました。実習中は、授業が思うように行かず、たくさん悩んだこともありましたが、どの実習も振り返ると1番に感じることは、教師という仕事はとてもやりがいがあるということです。私も、教員として子どものために働きたいと考えています。



これからの決意表明



私が目指す教師像は、メリハリがあり、常に子どもを1番に考える教師です。そのためにも、これから出会う同僚や上司の方に自分から積極的に関わり、日々学び続けたいと思います。

現代社会文化研究科

博士前期課程 現代文化専攻
山崎 幸歩 YAMAZAKI Yukiho

子どもたちのウェルビーイングに向けた環境づくりに関心を持ち、村山研究室で学ぶことを選択しました。これまでの活動では、健康教育をキーワードに保育園や学校、地域のコミュニティやイベントなど、様々な場面で子どもたちと関わる機会を創ることができました。研究活動の中で、自分が何を伝えたいのか、またそれが子どもたちへのメッセージとしてどのように伝わるかを考えることの大切さを学びました。この先は、これらの経験を活かした道に進もうと考えています。



これからの決意表明



「出会う目の前の人の人生に興味をもち関心を示すこと」をモットーに、さらに子どもを取り巻く環境に着目しながら社会課題の解決に向かって活動していきたいと思っています。

農学部

農学科
大淵 美優 OFUCHI Miyu

はじめに食に携わりたいと強く感じたのは、インターンシップでした。私が参加した学部インターンシップでは、食についてのイベント企画、運営を行う業務を担当しました。私たちが企画・担当したのは食育クイズと芋ほり体験でした。様々なお客様と関わっていく中で、自分が企画したものでお客様が喜んでくれる姿や楽しそうにご飯を食べる表情に強いやりがいを感じ、自分も食を通じて人を笑顔にしたいと感じました。



これからの決意表明



大学では、活動の幅が増え、様々なことに挑戦できた4年間だったように感じます。私のがびのびと活動ができたのは周囲の協力や助けがあったからです。これからも周りへの感謝を忘れずに頑張っていきたいです。

理学部

理学科
澤 朱音 SAWA Akane

経済的にあまり余裕がなく、様々な支援を受けて大学まで勉強を続けてきました。その中に地元企業による奨学金も含まれていたこともあって、将来は仕事を通して社会に、地元へ還元したいと考えていました。就職先は地方と都心の人手格差の解消を掲げて福祉、医療分野の転職サポート等を行っています。数学の勉強を通じて身につけた論理的思考力や問題解決力、納得できるまで投げ出さず考え続ける精神的な強さを評価してもらえたのかなと思います。



これからの決意表明



自分の努力だけではここまで来られなかったという事実と向き合い続けることが、今まで支えてくれた人たちに対しての精一杯の誠実さだと考えています。感謝の気持ちを忘れず、仕事にも邁進していきたいです。

歯学部

歯学科
中嶋 優晶 NAKAJIMA Yuki

卒業後は、自分が歯科医師を目指すきっかけとなった場所で研修をすることになりました。新潟大学の臨床実習では、患者さんにとってより良い治療とは何か、どのような説明がわかりやすいかを日々考えながら、先生方のご指導のもと、沢山の経験をすることができました。新潟を離れることに一抹の寂しさ、不安もありますが、新潟大学で学べたことに感謝し、さらに成長できるよう努力していきたいです。



これからの決意表明



どの世代の人達にも、自分の歯で笑ったり食べたりできるようなお手伝いを歯科医師として、していきたいです。そのためには、常に学び続けること、挑戦し続けることを忘れずに、日々精進してまいります。

自然科学研究科

博士前期課程 環境科学専攻
竹田 宏太郎 TAKEDA Koutarou

卒業後は土木工事の現場管理人として働きます。大学で学んだ農業土木の知識やスキルを生かしつつ、人を動かす仕事につきたいと考え、この分野に興味を持つようになりました。最終的には、修士1年時に参加したインターンシップで、活き活きと働く先輩社員の姿や、尊敬できる方との出会いが決め手になり、この会社で働くことを決めました。また、生まれ育った新潟の会社であることも理由の一つです。



これからの決意表明



日々勉強をモットーに、現場を、会社を、そして新潟を支える人材を目指していきたいです。大変なこともたくさんあると思いますが、楽しむことを忘れず、仕事に精進していきたいと思っています。

創生学部

創生学修課程
平岡 颯太 HIRAOKA Sota

私は、旅行業界に興味があり、この業界で働きたいと考えていました。卒業研究で地方の第三セクター鉄道について研究し、知識を深める中で、試行錯誤を重ねながら地域とともに日々前進している現状を知りました。研究を通じて、地域外の人に魅力を伝え、行きたいと思わせる旅行業界の仕事をしたという思いが強くなりました。学生生活で学んだことを糧に、地域に寄り添う仕事ができる旅行業界の進路を選びました。



これからの決意表明



4月から目標としていた、旅行業界で働きます。期待が多い反面、不安もあります。新潟大学での学びを思い出し、周りに負けず自分を信じて、地域に寄り添い、前進・成長できるよう日々努力していきます。

工学部

工学科
濱西 元輝 HAMANISHI Genki

私は工学部を卒業後、本大学の自然科学研究科に進学します。この進路を選択したきっかけは、学部時代の就職活動を通して、より専門的な知識を身につけ、それを強みに社会に出たいと思ったからです。もともと、私は組織マネジメントに興味があり、研究室調べをしているときに、企業と共同研究している研究室の存在を知りました。組織で働く人と関わる中で、たくさんの発見ができると考えたため、現在の研究室に応募することを決めました。



これからの決意表明



春からは大学院に進学します。院では、専門的な知識を用いて、量的だけでなく質的な研究も行っていく予定です。そのため、学部で身につけた論理的な思考をもとに、研究活動に取り組みたいと思います。

医歯学総合研究科

博士課程 口腔生命科学専攻
岩間 基 IWAMA Hajime

私の所属する歯科矯正学分野は日本矯正歯科学会の認定医取得を一つの目標としていますので、卒業後も研究員として医局に引き続き所属する予定です。研修医修了後の進路として矯正分野を選択したのは単に興味本位でしたが、今では矯正治療の奥深さと難しさに直面し改めて興味深いと感じています。矯正歯科治療には専門的な知識と技術の習得が必須のため、継続して日々の診療に従事していきたいと考えています。



これからの決意表明



大学院では上級医や同期にも恵まれ、外来診療や研究活動において様々な経験を積むことができました。今後は患者さんだけでなく一緒に働くスタッフさんからも信頼されるような歯科医師を目指していきます。



新潟大学全学同窓会

白杵勇人会長インタビュー

全学同窓会の活動について、
白杵勇人会長にインタビューしました。



全学同窓会の理念や目標について教えてください。

全学同窓会の目標は、「新潟大学の発展と社会への貢献に資すること」「学生の大学における環境・活動を支援すること」「会員相互の交流と連携及び親睦を図ること」などです。この目標達成に向けて、会員への情報提供やサービスを充実し、大学の発展・社会貢献を推進して、「会員にとって同窓会の存在が実感できる同窓会づくり」、「母校とそこで学ぶ学生さんを支援できる力量ある同窓会づくり」を進めていきたいと考えています。

全学同窓会の活動や事業について教えてください。

広報紙「雪華」の発行、ホームページやメールマガジンの配信、年に一度の「全学同窓会交流会・講演会」(大学と共催)の開催、大学との懇談会・懇親会の開催、「新潟大学カード」(クレジットカード)事業、大学への支援事業、学生さんの部活動やサークル活動を支援するための公募型の「雪華支援事業」などを行っています。

今年度は、アフターコロナの中、感染防止対策をしっかりと行った上で全学同窓会交流会・講演会を実施することができました。また、雪華支援事業では、30団体に334万円の支援を行うことができました。「新潟大学カード」は、入会費・年会費無料のクレジットカードです。多くの皆様にご利用いただき、収益を大学や学生さんの支援に充てています。皆様方にも卒業を機に是非ともご入会をお願い申し上げます。

卒業したら…

新潟大学カードに入会しよう!

新潟大学カードはVISA付きの国際カード

新潟大学カードに関するお問い合わせは…

新潟大学全学同窓会事務局 TEL:025-262-7891

(受付時間 平日10:00~15:00) E-mail:n-doso@adm.niigata-u.ac.jp



学生、卒業生に一言お願いいたします。

ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大のため、生活様式が大きく変わり、本当に大変な学生生活だったと推察いたします。今年度はアフターコロナの中、対面授業が本格的に開始されましたが、昨年度までは授業がオンラインやハイブリットで行われたり、サークル活動等も三密を避けるために休止を余儀なくされたりしたのではないのでしょうか。

全学同窓会は、母校の教育・研究が成果を挙げ、評価が一層高まることを願っています。そして何よりも教職員、学生の皆さん一人一人のご努力・ご活躍を支援するとともに、卒業後それぞれの社会生活の中で、大学で育んだ力を存分に発揮して活躍されることを期待し、応援しております。

アフターコロナの中とはいえ、卒業される皆様にとっては本当に辛く苦しい一年だったと推察いたします。「ピンチをチャンスに変えて」卒業される皆様の前途に幸多かれと祈るとともに、ますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

【新潟大学全学同窓会HP】 <https://www.niigata-u-dousou.jp/>

【新潟大学全学同窓会事務局】

TEL:025-262-7891 (受付時間 平日10:00~15:00) FAX:025-262-7892

E-mail:dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

新潟大学サポーター倶楽部

新潟大学の活動を継続的にご支援いただける企業や法人・個人の方々にご入会いただいております。

年会費を「新潟大学基金」へご寄附いただき、本学の「学生の修学支援」、「国際交流」、「教育施設整備」を推進する事業に活用させていただいております。

(主な活用事業:輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金、新潟大学大学院博士課程奨学金、新潟大学学業成績優秀者奨学金など)

令和5年度新潟大学サポーター倶楽部報告会・情報交換会を開催しました

サポーター倶楽部の皆様をお招きし、倶楽部からの支援を活用した奨学金を受給した学生が、感謝や特色ある活動などをお伝えする「新潟大学サポーター倶楽部報告会・情報交換会」を開催し、倶楽部会員、学生、大学関係者合わせて126名が参加しました。

報告会では、4人の学生が学生生活の現状や今後の抱負を発表し、情報交換会では、倶楽部会員と学生が温かく交流する姿がみられ、多くの倶楽部会員や学生から「有意義だった」との感想が寄せられました。

【参加した学生からの声】

実際に企業の方々とお話したことは初めてで、とても有意義な時間になりました。また、志の高い方もたくさんいらっしゃり、新たな出会いもたくさんあり、本当に参加してよかったと思います。

サポーター倶楽部の方と交流する機会はなかなかないので、今回密に話すことができて良い経験になりました。また来年も参加したいと思っています。



報告会の様子



情報交換会の様子

【参加した倶楽部会員からの声】

学生さんの活動報告に感動しました。時代の変化を感じるとともに多様な学生さんがこれからも新潟大学に!と思いました。ささやかな支援ではありますが継続させていただきます。

今後も好奇心を忘れずに学び続けていってほしいと思います。企業としても、皆さんの学びを全力で応援させていただきます。

【お問い合わせ先】

新潟大学サポーター連携推進室

TEL: 025-262-6010

E-mail: kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp



倶楽部会員紹介

個人情報の取扱いについて

■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。

■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

新大広報 Back Number

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。

また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新大広報

検索



Follow us!

新大広報公式
X (旧Twitter)



新潟大学公式SNS



X (旧Twitter)



Instagram



Facebook

2024年 卒業記念号 [No.229]

2024年3月発行

編集・発行／新潟大学学務部・新潟大学広報事務局

印刷／株式会社DI Palette



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>